

科目	国際コミュニケーション(中国語) (Chinese for International Communication)		
担当教員	牛根 靖裕 非常勤講師		
対象学年等	電子工学科・4年・通年・選択・2単位(学修単位I)		
学習・教育目標	D2(100%)	JABEE基準1(1)	(a)
授業の概要と方針	まず中国語とはどのような言語であるのかを講義した後、テキスト『1からはじめる中国語練習』を中心に発音(ピンイン)と簡体字による中国語表記とを繰り返し練習し、基本的な文の構造を学習する。学んだことを演習形式で実践する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【D2】中国語と漢字を媒介とした文化に関する基礎知識を学ぶ。		演習問題, 小テスト, 中間試験および定期試験で評価する。
2	【D2】発音(ピンイン)の習得, 聞き取り, 表現を習得する。		演習問題, 小テストを通して, 発音(ピンイン), 聞き取り, 表現の習得を評価する。
3	【D2】日常的な中国語で使用される文字(簡体字・繁体字)を習得する。		演習問題, 小テスト, 中間試験および定期試験で評価する。
4	【D2】基礎文法や単語を習得する。		基礎文法や単語の習得度を, 演習問題, 小テスト, 中間試験および定期試験で評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は, 試験70% 演習問題、練習と小テスト30% として評価する。試験成績は前期および後期の中間試験と定期試験の平均点とする。総合評価は小テストなど演習の成績と試験成績を総合して, 100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	『1からはじめる中国語練習』(内藤正子著, 白水社, 1999年)		
参考書	『デイリーコンサイズ中日・日中辞典』(杉本達夫・牧田英二・古屋昭弘 共編, 三省堂)		
関連科目	ドイツ語, 韓国語		
履修上の注意事項	中国語, ドイツ語や韓国語の授業を通して, 東洋の文化や西洋の文化に対する理解を深め, 多面的にものごとを考える能力を身に付けるよう努力する。毎週の授業に対する一定の準備と復習を必要とする。		

授業計画 1 (国際コミュニケーション(中国語))

回	テーマ	内容(目標, 準備など)
1	発音の基礎 1	発音と発音記号の説明と演習.
2	発音の基礎 2	発音と発音記号の説明と演習.
3	文法 1	人称代名詞と助詞“的”の説明と演習.
4	文法 2	指示代名詞と量詞の説明と演習.
5	文法 3	形容詞述語と動詞述語の説明と演習.
6	文法 4	主述述語と選択疑問文の説明と演習.
7	文法 5	疑問詞疑問文の説明と演習.
8	中間試験	第1回から第7回までに学んだ内容について中間試験で確認する.
9	中間試験の解説, 文法 6	中間試験の内容について解説する. 限定語と状況語の説明と演習.
10	文法 7	数の数え方と時間の表し方の説明と演習.
11	文法 8	お金の数え方と名前や年齢の尋ね方の説明と演習.
12	文法 9	方位詞と存在を表す“有, 在”の説明と演習.
13	文法 10	介詞の説明と演習.
14	文法 11	完了と変化の“了”の説明と演習.
15	まとめ 1	前期の学習事項をまとめる.
16	定期試験の解説, 文法 12	定期試験の内容について解説する. 経験を表す助詞の説明と演習.
17	文法 13	助動詞の説明と演習.
18	文法 14	程度補語と結果補語の説明と演習.
19	文法 15	進行形と持続形の説明と演習.
20	文法 16	動詞と形容詞の重ね用法の説明と演習.
21	文法 17	動作の継続時間の表し方の説明と演習.
22	文法 18	方向補語と結果補語の説明と演習.
23	中間試験	第16回から第22回までに学んだ内容について中間試験で確認する.
24	中間試験の解説, 文法 19	中間試験の内容について解説する.“的時候”, “是~的”の説明と演習.
25	文法 20	謙語文と連動文の説明と演習.
26	文法 21	比較文と“就, 才”の説明と演習.
27	文法 22	動作や状況の繰返しを表す“再, 又”と, 処置式“把”の説明と演習.
28	文法 23	受身文と存現文の説明と演習.
29	文法 24	疑問文の応用と強調の仕方の説明と演習.
30	まとめ 2	後期の学習事項をまとめる.
備考	前期, 後期ともに中間試験および定期試験を実施する.	